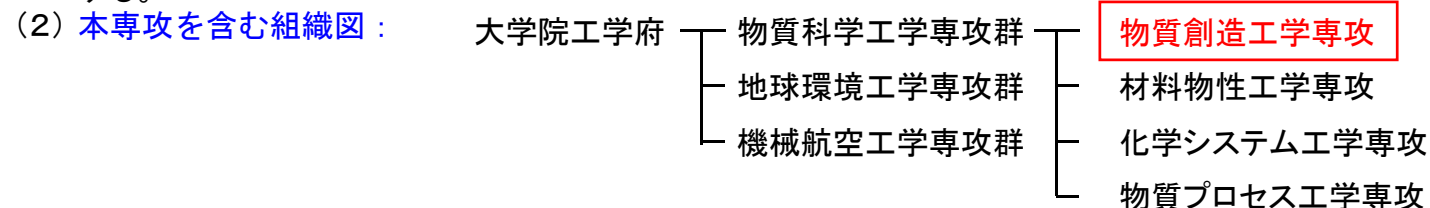


第1回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名：九州大学大学院工学府物質創造工学専攻

【専攻の概要】

(1) **物質創造工学専攻の概要**：社会生活の持続的発展を可能とするために、応用化学の合成手法を用いて、機能性に優れた物質・材料の創成をめざす学問である。本専攻では、原子・分子レベルでの理解を基礎に新しい物質・材料の創造に関する論理・知識・方法を教育研究し、豊かな物質社会と人類の福祉に貢献できる研究者・技術者・教育者を組織的に養成する。



【取組みの概要】

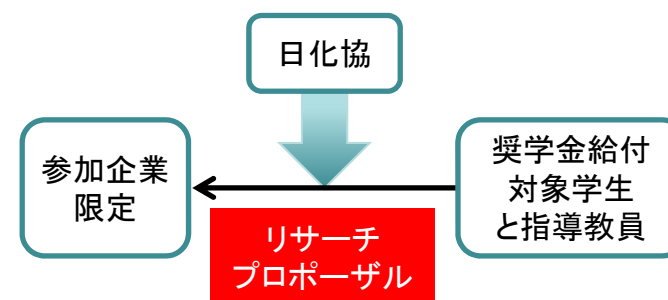
[目指す人材像]

- (1) 幅広い基礎的学力を持つ人材(T型やπ型人材)
- (2) マネジメント能力を持つ人材
- (3) リーダーシップ・コミュニケーション能力に優れた人材
- (4) グローバルな感覚を持った人材

[内容]

(1) **幅広い基礎的学力を持つ人材(T型やπ型人材)を育成するための取り組み**

奨学金給付対象学生に対して、主体的な研究立案能力を育成する「**リサーチプロポーザル**」を実施する。リサーチプロポーザルとは、奨学金給付対象学生の学位研究の課題とは異なる分野における新規な研究計画の立案および、その研究を計画書にまとめることである。新しい分野の研究の現状、未解決な問題を十分に調査した上で、魅力的で具体性のある研究計画の作成を行い、研究企画能力を向上させる。**奨学金給付対象学生の提案は、「リサーチプロポーザル報告会」(日化協・参加企業も出席可)で発表し、報告書にまとめる。**



連絡先

- 担当者名：古田弘幸
- Tel: 092-802-2865
- E-Mail: hfuruta@cstf.kyushu-u.ac.jp

第1回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名：九州大学大学院工学府物質創造工学専攻

【取組みの概要(つづき)】

(2) マネジメント能力を持つ人材を育成するための取組み

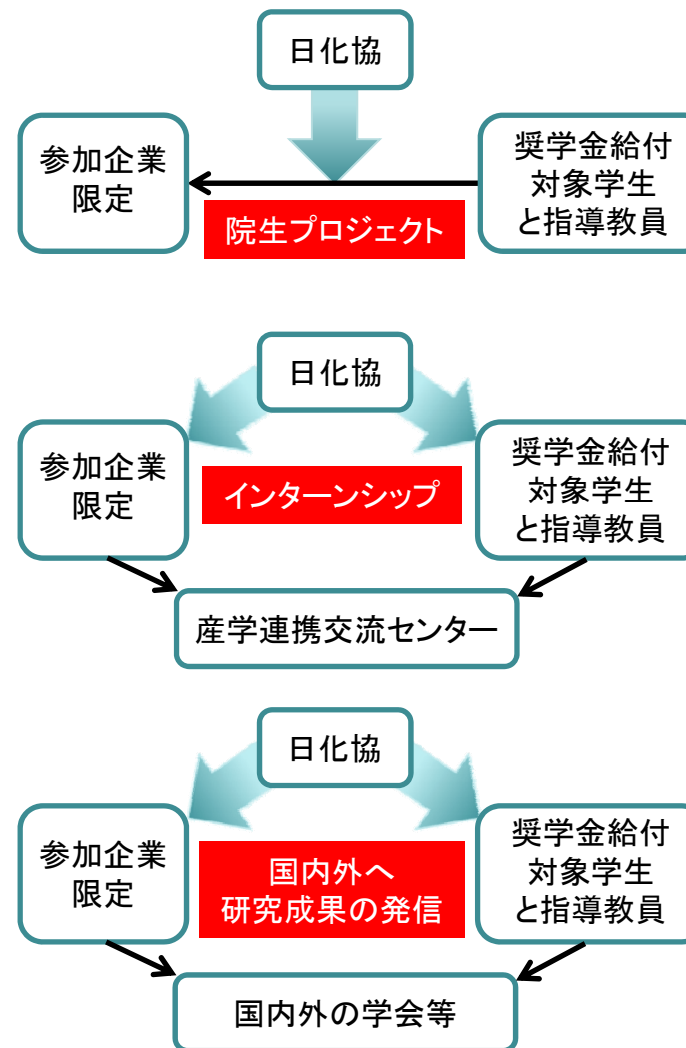
奨学金給付対象学生の主体的責任において研究を遂行する「**院生プロジェクト**」を実施する。院生プロジェクトは学生が自分の経験と知識をもとに、即応的に実施可能な研究の立案と遂行を行い、現場での課題解決力を含む研究現場での総合実践力を育成するものである。具体的には、奨学金対象学生が支援対象専攻の研究室で実施可能な小規模研究を立案し、申請書を作成する。申請書は支援対象専攻の指導教員が審査する。**奨学金給付対象学生の提案は、「院生プロジェクト報告会」(日化協・参加企業も出席可)で発表し、報告書にまとめる。**

(3) リーダーシップ・コミュニケーション能力に優れた人材を育成するための取組み

奨学金給付対象学生および支援対策専攻の学生の参加企業への**インターンシップ**および産学連携交流センターでの参加企業と共同研究を行う機会を設ける。参加企業へのインターンシップは、学生のリーダーシップおよびコミュニケーション能力の育成に非常に効果的である。また、奨学金給付対象学生は学生実験のティーチングアシスタントを担当することで、下級生の実験を指導をとおして、リーダーシップおよびコミュニケーション能力を育成する。

(4) グローバルな感覚を持った人材を育成するための取組み

奨学金給付対象学生および支援対策専攻の学生に、国際化社会に対応するための「英語によるプレゼンテーションや学術論文作成に必要な基礎学力」を身につけさせる。参加企業と協力して、「**国内外の学会での研究成果の発信**」をとおして、グローバル感覚に優れた国際的産業人材を育成する。



連絡先

- 担当者名: 古田弘幸
- Tel: 092-802-2865
- E-Mail: hfuruta@cstf.kyushu-u.ac.jp